

北海道の冬季の寒さに配慮した 学校の換気方法

新型コロナウイルス感染症のリスク要因の一つである「換気の悪い密閉空間」の改善には、換気方法の工夫が重要です。

文部科学省：学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～（2020.9.3 Ver.4）では、次のように示されています。

換気は、気候上可能な限り常時、困難な場合はこまめに（30分に1回以上、数分間程度、窓を全開する）、2方向の窓を同時に開けて行うようにします。

北海道では冬季に窓を大きく開けると、室内が寒くなります。効果的な換気のためには、常時換気を行うことが望ましい（4頁【参考】を参照）ことから、冬季の寒さ感を緩和する常時換気の方法を提案します。

※この提案は、学校環境衛生基準(文科省)等に基づく換気量を確保するための方法です。換気量を増やすと、暖房の燃料消費量は増加します。

換気方法の選択の流れ

教室に換気設備があるか

ある

ない

ある①

- 壁付け換気扇
- 天井埋込形排気装置



壁付け換気扇 天井埋込形

ある②

- 熱交換型換気設備
- 換気機能を持つ空調（暖房）設備



熱交換型

エアコンには換気機能がありません。換気設備の有無と種類で選択してください。

A.換気扇がある場合

2頁を見てください

常時運転してください
（特別な工夫は必要ありませんが、フィルター等の清掃は必須です）

ない

B.換気扇がない場合

3頁を見てください